



明石市立
文化博物館

文化博物館だより 第164号

2007年6月5日

みなさん、こんにちは。6月に入り、クールビズ期間が始まりましたが、少し季節が逆戻りしたような過ごしやすい気候の日が続いています。

● ワークショップ 布ぞうり作りが行われました。

4月はお休みさせていただきました布ぞうり作りのワークショップが、5月27日に再開されました。布ぞうりの材料にはシーツ1枚分程度の布が必要です。参加者の皆さんはどのような布を持ってこられたのか、学芸員の藤尾さんが質問しました。今回のために購入したという声もありましたが、「知り合いからいただいた大正時代の布団」「息子のお嫁さんにもらったTシャツ」「お姑さんのワンピース」「祖母の浴衣」「亡くなった父のもの」等、いただいたものや遺品をリメイクするという方がたくさんいらっしゃいました。ボランティアさんの手を借りて、思い出のたくさん詰まった布に、新しい命が吹き込まれたようです。



布を短冊状にしていきます



世界に1つしかない色柄の
布ぞうりができあがりしました

● 「文博NEWS」第45号が発行されました。

年に3回発行される「Bunpaku News」第45号が発行されました。

おすすめは「スタッフ紹介」コーナーです。初回である今号では堀田邦雄館長が登場しています。イラストは当館学芸員河野真理さんの力作です。かなり可愛いです。この顔を見かけたら、「タコ」について聞いてみてくださいね。「タコ」が何かは、読んでいただければ分かります。



表紙は「華麗なる美人画の世界展」より

その他、特別展・企画展報告、ボランティア活動報告、館蔵品紹介等のコーナーがあります。当館受付カウンター等で無料配布していますので、どうぞご覧ください。

私も祖母から譲り受けた着物がありますが、20cmも背丈が違うため、着てあげたくても着れずに押し入れに仕舞いこんでいます。私も布ぞうりにリメイクしてみようかなと思いました。